

令和6年3月1日

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会 (DMO KYOTO)
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ月報 (2024年1月) について

このたび、京都市観光協会データ月報(2024年1月)をとりまとめましたのでお知らせします。今回のホテル統計の対象施設数は110軒、旅館統計の対象施設数は25軒です。

1月の調査結果のポイント

ホテル統計

稼働率は60.3%となり、前年同月から上昇も、2019年同月の水準を下回った

京都市内主要ホテル110施設における2024年1月の客室稼働率は60.3%となり、前年同月の55.2%からは5.1ポイント増となった。2019年同月の65.6%からは5.3ポイント減となり、2か月ぶりに2019年同月の水準を下回った(P8,9,11)。

日本人延べ宿泊数は、物価高の影響で宿泊需要が低下し、前年同月や2019年同月から減少した

調査対象施設における日本人延べ宿泊数は319,087泊となり、前月(12月)の430,745泊から25.9%減となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、前年同月比は14.7%減、2019年同月比は33.4%増となった(P8)。

コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ(45施設)で比較すると、前年同月から10.0%減となった。「全国旅行支援」は前年同月も実施されていたが(2024年は1月9日~1月31日、2023年は1月10日~6月30日)、物価高の影響などで前年よりも宿泊需要が低下したと考えられる。2019年同月からは13.2%減となり、4か月ぶりに10%を超える下落となった(P8,10)。

外国人延べ宿泊数は、3か月ぶりに2019年同月から減少した

調査対象施設における外国人延べ宿泊数は302,717泊となり、前月(12月)の393,568泊から23.1%減となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、2019年同月比は52.8%増となった。

コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ(45施設)で比較すると、2019年同月比は7.8%減となり、3か月ぶりにコロナ禍前2019年同月を下回った(P8,10)。

総延べ宿泊者数に占める外国人比率は48.7%となった。2019年同月の45.3%からは3.4ポイント増となり、5か月連続で2019年同月を上回った(P8,9,11)。

国・地域別構成比では、2か月連続で中国が1位となった

外国人延べ宿泊数を国・地域別構成比で見ると、中国が20.8%(2019年同月36.4%)と最も多く、次いで台湾が16.2%(同13.1%)、アメリカが10.9%(同9.4%)と続いた。2か月連続で中国が1位となった。また、オーストラリアは現地の夏季休暇で例年1月に訪日需要が高まる特性があり、10.3%まで構成比が高まった(P12)。

平均客室単価・客室収益指数ともに2019年同月を上回り続けている

平均客室単価は15,390円となり、前年同月の13,114円からは17.4%増、2019年同月の12,712円からは21.1%増となった。客室収益指数(平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1室あたりの売上高に相当する)は9,280円となり、前年同月の7,239円から28.2%増、2019年同月の8,339円からは11.3%増となった。

また、平均客室単価を米国ドル建てで換算した場合、2019年同月比は10.3%減となっており、外国人にとっては割安に感じる状況となっている(P14,15)。

旅館統計

客室稼働率は37.7%となり、5か月ぶりに2019年の稼働率を下回った

市内主要旅館25施設における1月の稼働率は37.7%となり、前月(12月)の68.0%から30.3ポイント減、前年同月の39.1%から1.4ポイント減、コロナ禍前である2019年同月の42.2%から4.5ポイント減となった。5か月ぶりに2019年の稼働率を下回った(P17~19)。

市場環境全般

「行こう指数」は、2019年当時の水準を上回る状況が続いている

日本人による京都への訪問意向「行こう指数」の2024年1月の値は114.6(2019年の平均値を100とした場合)となり、前月(12月)の118.5からは下落したものの、前年同月の109.5は上回った(P22)。

京都市内における宿泊施設の施設数は前年同月比0.8%減、客室数は前年同月比1.9%減となった

2024年1月末時点での京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、前月から18軒開業、13軒廃業、差し引き5軒増加して、3,432軒となり、前年同月の3,461軒からは0.8%の減少となった。総客室数(推計)は57,555室となり、前年同月の58,699室から1.9%の減少となった(P24)。

日帰り客を含めた市内の日本人来街者指数は、2019年当時の水準を2か月連続で上回った

2024年1月の来街者指数は96.5(2019年の平均値を100とした場合)となり、2019年同月の95.3を上回った。2019年当時の水準を上回るのは2か月連続である(P25)。

市内4百貨店の免税売上額は約24.5億円となり、2019年同月の免税売上額から約2倍となった

2024年1月の市内4百貨店における免税売上額は約24.5億円と前月(12月)の約34.9億円から減少も、コロナ禍前である2019年1月(約12.2億円)からは円安の影響もあり約2倍となった。免税売上額に占める中国人の割合は53.6%(2019年同月は77.9%)となった(P27)。

観光案内所の来所者数は、2019年当時の水準まで至っていない

2024年1月の来所者数は前月(12月)から16.8%減となった。2019年同月比でも44.2%減に留まっており、客室稼働率等と比べると回復していない。外国人比率は47.0%となり、2019年同月の40.6%から6.4ポイント増加した(P28)。

今後の見通し

1月時点の今後の客室稼働率の予測値は、2月70.4%(2019年同月78.5%)、3月75.8%(同85.0%)、4月71.5%(同89.9%)となった。物価高の影響で、日本人の旅行需要が伸び悩んでいることが影響している可能性がある。また、2月は春節休暇(2024年2月10日~2月17日)があり、例年であれば中華圏の宿泊客が増加する時期ではあるが、中国経済の不景気や、航空路線が回復しきっていないことなどの影響で、需要回復が限定的なものに留まっている。3月後半からの桜の開花シーズンやイースター休暇の予約は増えつつあるが、コロナ禍前と比べて予約の間際化が進んでいることが影響しているためか、いまのところ2019年を上回る水準までは達しない見込みである(P11)。

参考：新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の期間

時期	京都	東京	海外渡航規制など		
2020年	1月				
	2月		中国人の入国を禁止 2/6～		
	3月		外国人の入国を原則禁止 3/19～		
	4月	緊急事態宣言（1回目）4/16～5/21	緊急事態宣言（1回目）4/7～5/25		
	5月	他府県への移動自粛 5/22～6/19	他府県への移動自粛 5/26～6/19		
	6月	京都で食べよう、泊まろうキャンペーン 6/19～9/30			
	7月				
	8月	GoToトラベルキャンペーン 7/22～12/27			
	9月				
	10月		GoToトラベルキャンペーン 10/1～12/27 ※東京が目的地		
	11月		もっとTokyo 10/23～11/28	一部地域の外国人のビジネス往來を解禁 11/1～	
	12月				
2021年	1月	緊急事態宣言（2回目）1/14～2/28	緊急事態宣言（2回目）1/8～3/21	すべての国からの外国人の新規入国を原則停止 12/28～	
	2月				
	3月				
	4月	まん延防止等重点措置 4/12～4/24	まん延防止等重点措置 4/12～4/24		
	5月	緊急事態宣言（3回目）4/25～6/20	緊急事態宣言（3回目）4/25～6/20		
	6月	まん延防止等重点措置 6/21～7/11	まん延防止等重点措置 6/21～7/11		
	7月				
	8月	まん延防止等重点措置 8/2～8/19	緊急事態宣言（4回目）7/12～9/30		
	9月	緊急事態宣言（4回目）8/20～9/30			
	10月				
	11月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 10/22～2/1 ※1/4～近畿府県民に拡大 ※1/12～近畿府県民、順次新規予約停止	KYOTOagain! 11/1～12/31	外国人の新規入国を条件付きで解禁 11/8～ 外国人の新規入国を原則停止 11/30～	
	12月				
2022年	1月	平日キャンペーン 1/17～2/28	まん延防止等重点措置 1/21～3/21		
	2月	まん延防止等重点措置 1/27～3/21			
	3月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 3/22～10/10		観光目的以外の外国人の新規入国を容認 日本人を含む入国上限 1日5,000人に 3/1～	
	4月				
	5月	※GW（4/30～5/8）を除く			
	6月	※6/1～近畿府県民に拡大（奈良県民除く）		入国上限 1日20,000人に 6/1～ 添乗員付きパッケージツアー客の受入再開 6/10～	
	7月	※7/1～奈良県民に拡大			
	8月	※7/15～9/11大阪府民は対象外			
	9月	※9/12～大阪府民に拡大	京都「にち・とま」キャンペーン 8月お盆明け～10/31	もっとTokyo 9/1～6/30 ※年末年始・GWを除く	入国上限 1日5万人に 添乗員なしのパッケージツアー受入 9/7～ 入国上限 撤廃 個人旅行者の入国解禁など 10/11～
	10月	全国旅行支援（京都） 10/11～12/27	全国旅行支援（東京） 10/20～12/27		
	11月				
	12月				
2023年	1月	全国旅行支援（京都） 1/10～6/30 ※GW期間を除く	全国旅行支援（東京） 1/10～6/30 ※GW期間を除く		
	2月				
	3月				
	4月				
	5月			水際対策 終了 ワクチン証明書等の提出不要に 4/29～	
	6月				
	7月				
	8月			中国 団体旅行解禁 8/10～	
	9月				
	10月				
	11月				
	12月	全国旅行支援（京都） 12/1～12/27			
2024年	1月	全国旅行支援（京都） 1/9～1/31			

1月の調査結果のポイント	1
ホテル統計	1
旅館統計	2
市場環境全般	2
今後の見通し	2
京都市観光協会データ月報（2024年1月）本編	4
調査概要	5
(1) 全体概要	5
(2) 調査対象	5
(3) 分析数値	5
(4) 休業の扱いについて	5
(5) データ分析用ダッシュボードの提供について	6
(6) その他	6
ホテル統計	8
(1) 主要指標の一覧	8
(2) 延べ宿泊数 2019年同月比の推移	10
(3) 客室稼働率・外国人比率の推移	11
(4) 国・地域別の延べ宿泊数 構成比	12
(5) 国・地域別の延べ宿泊数 前年同月比・2019年同月比（単位 %）	13
(6) 入国制限緩和以降の中国人延べ宿泊者数の2019年同月比（2019年から調査対象施設のみ）	13
(7) 平均客室単価および客室収益指数	14
旅館統計	17
(1) 主要指標の一覧	17
(2) 稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比・2019年同月比の推移、外国人比率の推移	18
市場環境全般	20
(1) 宿泊予約サイトにおける12週間先までの客室販売価格の推移	20
(2) 京都観光意向指数（通称：行こう指数）	22
(3) 国内主要空港別の国際線到着便座席数の推移・方面別の国際線到着便座席数の推移	23
(4) 京都市内の宿泊施設数・客室の推移	23
(5) ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況	25
(6) 京都市内4百貨店における免税売上げ	27
(7) 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR京都駅ビル2階	28
(8) 為替レートの推移	29
京都110ホテル宿泊状況調査結果 集計表（2024年1月）	30

調査概要

(1) 全体概要

- 京都市内における日本人および外国人の宿泊状況等をタイムリーに把握できるよう、平成26年(2014年)4月以降、京都市内の主な宿泊施設の協力を得て、国・地域別の調査(「実人数」「延べ泊数」「延べ部屋数」)を毎月実施。※全国で唯一の取組(京都市観光協会調べ)。
- なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義しています。

(2) 調査対象

2024年1月時点	ホテル		旅館	
	施設数	客室数	施設数	客室数
調査対象	110	18,900	25	617
市内全体 ^{※1}	267	36,220	367	5,311
カバー率	41.2%	52.2%	6.8%	11.6%

- ※1 平成30年の旅館業法改正にともないホテル・旅館の区分が廃止されたため、市内全体におけるホテルの施設数および客室数は、区分が廃止される直前までの旅館の数値に変動が無いものと仮定して算出している。
- ※2 前年と本年では対象施設数が異なる場合があるため、今回発表する前年の数値は昨年発表値と異なる。
- ※3 P15の客室収益指数(RevPAR)等の数値は、ホテルデータサービス会社STR(本社:イギリス・ロンドン)からの提供によるもので、上記ホテル施設数とは対象が一部異なる。

(3) 分析数値

「販売可能客室数」...日々販売されている客室数の月間累積値を示す。

例)100部屋を有する施設にて、20室が改装工事中、80室を30日間販売していた場合

販売可能客室数:80室×30日=2,400室

「客室稼働率」...「販売可能客室数」における「稼働客室数」の割合

「外国人比率」...「総延べ人数」における「外国人延べ人数」の割合

「構成比」...「外国人延べ人数」における「各国・地域の延べ人数」の割合

「伸率」...「前年の各国・地域の延べ人数」に対する「本年の各国・地域の延べ人数」の伸率

(4) 休業の扱いについて

調査対象期間(2024年1月1日～1月31日)中、対象施設が臨時的に休業した場合は、通常営業していた期間のみを対象にして客室稼働率を算出します。

例)100部屋を有する施設が、以下のように営業をしていた場合

① 1月1日～10日期間(10日)は100室のまま通常営業し、利用のあった客室数は200室

② 1月11日～20日期間(10日)は50室に絞って営業し、利用のあった客室数は100室


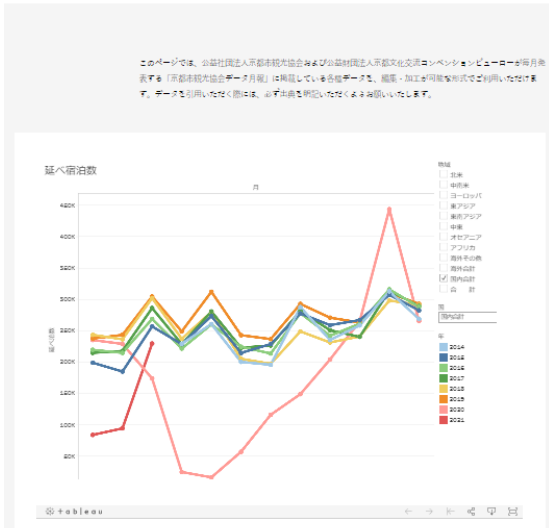
③ 1月21日～31日の期間(11日)は休業

販売可能客室数: 100室×10日(①期間) + 50室×10日(②期間) = 1,500室

客室稼働率 : 利用のあった客室数300室 ÷ 営業期間中の販売可能客室数1,500室 = 20%

(5) データ分析用ダッシュボードの提供について

これまでデータ月報で発表してきた各種データを、自由に分析・加工していただける機能(Tableauダッシュボード)を、京都市観光協会ウェブサイト内にて提供しております。

<p>利用方法</p>	<p>京都市観光協会公式HP https://www.kyokanko.or.jp/dashboard 申込フォームより必要事項をご記入の上、ご利用ください</p>	
<p>利用可能データ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 延べ宿泊数、実宿泊客数、稼働客室数の 前年同月比の月次推移 ● 客室稼働率の月次推移 ● 1部屋当たり宿泊客数、1人当たり宿泊日数の月次推移 ● 国・地域別の延べ宿泊数の 前年同月比の月次推移 ● 平均客室単価および客室収益指数の月次推移 ● 行こう指数の月次推移 ● 市内開業済・開業予定の 宿泊施設の位置情報(Googleマイマップ) 	
<p>分析画面イメージ</p>	 <p>このページでは、公益社団法人京都市観光協会および公益財団法人京都文化芸術コンベンションビューローが毎月発表する「京都市観光協会データ月報」に掲載している各指標データも、検索・加工が可能な形式でご提供いたします。データを活用いただく際は、必ず当協会の規定に従っていただきます。</p> <p>分析項目によっては、年月などの時点や、国籍・地域などで絞り込んだ表示切替を瞬時に行うことができます。</p> <p>Excel形式等でダウンロードすることができ、用途に合わせて自由に分析、デザイン加工などをしていただくことができます。</p>	

(6) その他

- 京都市観光協会データ月報は、調査対象施設のみなさまのご協力、ならびに京都市観光協会会員および京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員からの会費をもとに運営しております。
- 本資料の数値を引用する場合は、「出典:京都市観光協会データ月報」を明示してください。ただし、P15のSTRデータについては、STRの書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。報道・メディア媒体への掲載については、(公社)京都市観光協会(担当:堀江)までお問合せください。
- 各種数値は、データ提供元である宿泊施設等からの訂正等により、後日予告なく修正される場合があります。原則として、後から発表される数値を正しいものとして利用いただくようお願いいたします。
- 京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設(旅館業法許可施設)を対象とする「京都観光総合調査」(京都市から年1回発表)が基本指標となります。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主な宿泊施設を対象とする標本調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数(日本全体)との比較等も参考分析という位置づけとなります。
- ご協力いただいている本調査対象ホテルには、エリア・客室数・ADRなどに分類集計したデータ、日毎稼働率の実績・予約データ(いずれも非公開)を毎月ご提供しております。調査参画をご希望の場合は、下記までお問合せください。

<本件に関するお問合せ先>

公益社団法人 京都市観光協会

TEL:075-213-0070 e-mail:marketing@kyokanko.or.jp

担当:企画推進課 神田、堀江

ホテル統計

(1) 主要指標の一覧

指標	2024年1月	2023年12月	前月 伸率・差	2023年1月	前年同月 伸率・差	2019年1月	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2024年1月	2023年12月	—	2024年1月	—	2020年1月	—
調査対象施設数	110	110	—	110	—	55	—
販売可能客室数	582,373 室	586,675 室	▼0.7%	583,652 室	▼0.2%	373,854 室	△55.8%
稼働客室数	351,100 室	450,180 室	▼22.0%	322,219 室	△9.0%	245,065 室	△43.3%
客室稼働率	60.3 %	76.7 %	▼16.4pts	55.2 %	△5.1pts	65.6 %	▼5.3pts
日本人延べ宿泊数	319,087 泊	430,745 泊	▼25.9%	374,239 泊	▼14.7%	239,238 泊	△33.4%
外国人延べ宿泊数	302,717 泊	393,568 泊	▼23.1%	158,186 泊	△91.4%	198,055 泊	△52.8%
総延べ宿泊数	621,804 泊	824,313 泊	▼24.6%	532,425 泊	△16.8%	437,293 泊	△42.2%
外国人比率	48.7 %	47.7 %	△1.0pts	29.7 %	△19.0pts	45.3 %	△3.4pts
1部屋当たり宿泊客数	1.77 人	1.83 人	▼0.06人	1.65 人	△0.12人	1.78 人	▼0.01人
1人当たり宿泊日数	1.96 泊	2.10 泊	▼0.14泊	1.84 泊	△0.12泊	1.77 泊	△0.20泊

コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみに絞った場合の主要指標

指標	2024年1月	2023年12月	前月 伸率・差	2023年1月	前年同月 伸率・差	2019年1月	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2024年1月	2023年12月	—	2024年1月	—	2020年1月	—
調査対象施設数	45	45	—	45	—	45	—
販売可能客室数	335,998 室	338,582 室	▼0.8%	338,613 室	▼0.8%	326,380 室	△2.9%
稼働客室数	196,454 室	261,238 室	▼24.8%	186,357 室	△5.4%	218,795 室	▼10.2%
客室稼働率	58.5 %	77.2 %	▼18.7pts	55.0 %	△3.5pts	67.0 %	▼8.5pts
日本人延べ宿泊数	195,682 泊	271,523 泊	▼27.9%	217,482 泊	▼10.0%	225,379 泊	▼13.2%
外国人延べ宿泊数	151,850 泊	209,785 泊	▼27.6%	85,938 泊	△76.7%	164,753 泊	▼7.8%
総延べ宿泊数	347,532 泊	481,308 泊	▼27.8%	303,420 泊	△14.5%	390,132 泊	▼10.9%
外国人比率	43.7 %	43.6 %	△0.1pts	28.3 %	△15.4pts	42.2 %	△1.5pts
1部屋当たり宿泊客数	1.77 人	1.84 人	▼0.07人	1.63 人	△0.14人	1.78 人	▼0.01人
1人当たり宿泊日数	1.94 泊	1.98 泊	▼0.05泊	1.71 泊	△0.23泊	1.75 泊	△0.19泊

注) 集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

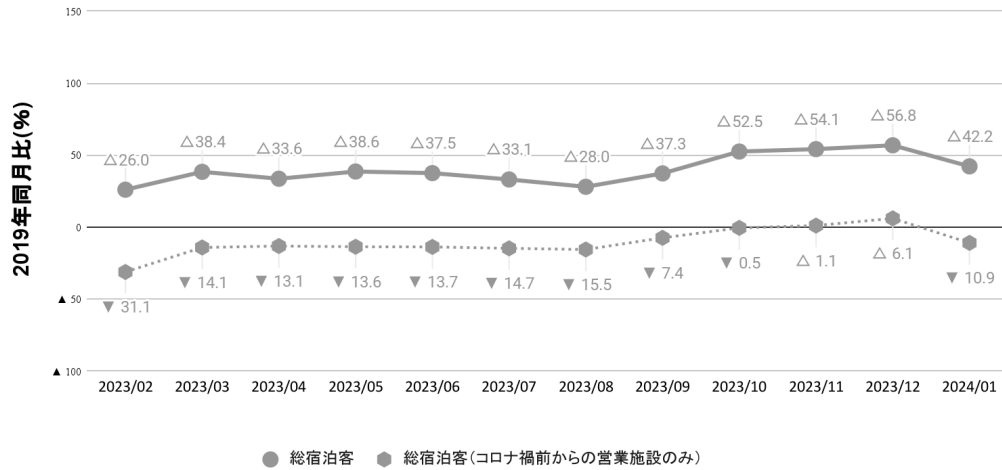
【参考】京都市全体および日本全体との比較(単位 %)

年	月	客室稼働率			延べ宿泊数 前年比			延べ宿泊数 外国人比率		
		ホテル	京都市	日本	ホテル	京都市	日本	ホテル	京都市	日本
		統計	全体	全体	統計	全体	全体	統計	全体	全体
2021	1	13.4	14.4	26.2	▼79.2	▼77.3	▼59.9	1.6	2.2	2.6
	2	19.7	19.2	30.5	▼61.8	▼64.9	▼52.9	0.6	0.8	1.2
	3	31.4	32.1	40.2	△25.8	△2.4	△14.0	1.3	2.1	1.0
	4	21.1	20.9	35.8	△384.9	△228.3	△131.2	0.7	0.8	1.0
	5	14.0	13.5	30.1	△360.7	△194.4	△163.0	0.6	0.8	1.2
	6	19.7	18.4	32.4	△92.7	△42.7	△37.6	0.5	0.8	1.2
	7	30.1	28.7	43.4	△87.7	△46.4	△38.6	0.5	0.9	2.5
	8	26.6	25.2	40.5	△34.4	△9.2	△18.5	0.5	1.0	1.9
	9	27.1	24.2	35.2	▼13.1	▼30.5	▼13.8	0.5	0.6	1.2
	10	38.8	34.1	46.7	▼2.9	▼19.0	▼2.6	0.6	0.8	0.9
	11	58.9	55.4	54.1	△1.6	▼8.0	△5.4	0.5	0.7	0.9
	12	55.2	48.2	54.1	△55.6	△36.8	△40.0	0.4	0.7	0.8
2022	1	32.3	29.1	39.2	△187.2	△104.3	△64.5	0.4	0.6	0.8
	2	31.2	27.9	38.4	△99.0	△43.7	△32.0	0.4	0.6	0.9
	3	45.2	41.3	47.5	△54.0	△34.4	△22.6	0.6	1.1	1.0
	4	45.8	42.7	50.5	△161.1	△111.3	△49.9	0.9	1.0	1.6
	5	49.1	45.9	51.2	△348.4	△272.9	△79.4	1.1	1.6	1.8
	6	50.0	46.3	53.3	△232.3	△189.3	△75.9	1.7	1.5	1.8
	7	47.1	44.8	54.8	△69.3	△75.2	△33.2	2.2	2.1	1.7
	8	49.9	46.5	57.9	△112.0	△99.4	△53.2	4.0	2.4	1.5
	9	54.2	52.1	57.1	△134.0	△144.6	△75.7	3.8	3.1	2.1
	10	63.7	57.6	61.5	△88.5	△94.6	△40.2	13.1	10.4	4.8
	11	79.5	71.0	66.1	△48.4	△48.5	△26.8	17.7	17.3	8.3
	12	73.7	63.7	63.3	△138.0	△49.7	△20.3	24.7	22.5	12.8
2023	1	55.2	46.4	53.6	△89.7	△68.3	△38.9	29.7	26.8	15.3
	2	63.1	54.2	61.8	△142.0	△120.6	△76.7	26.4	25.4	14.4
	3	78.0	68.1	66.9	△98.4	△75.0	△51.5	37.5	33.1	14.9
	4	78.8	71.0	64.3	△101.5	△102.8	△35.4	55.2	45.2	20.9
	5	76.5	70.7	65	△68.5	△69.8	△34.1	44.4	36.5	17.8
	6	72.2	65.6	64.6	△64.8	△53.4	△31.5	51.2	41.0	20.6
	7	66.7	59.6	65.6	△65.0	△48.4	△31.9	54.9	48.0	20.6
	8	69.3	63.3	70.5	△54.0	△49.8	△28.6	48.8	42.3	16.5
	9	75.8	71.4	68.7	△54.2	△48.3	△27.7	51.8	44.4	19.5
	10	82.9	77.6	71.2	△46.5	△44.4	△21.5	56.5	47.3	22.8
	11	85.8	80.6	72.3	△16.5	△17.7	△14.8	51.5	45.7	22.5
	12	76.7	-	-	△10.2	-	-	47.7	-	-
2024	1	60.3	-	-	△16.8	-	-	48.7	-	-

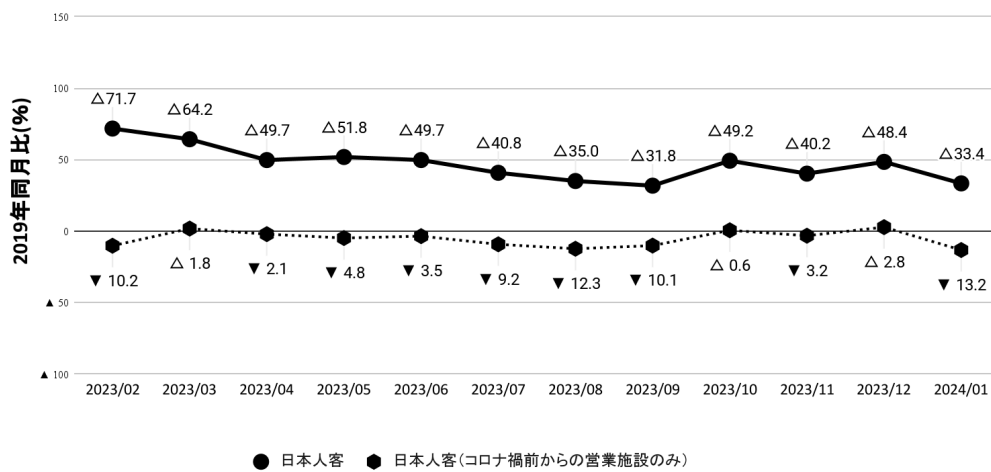
注)京都市全体および日本全体の値は、観光庁 宿泊旅行統計 2次速報値をもとに集計

(2) 延べ宿泊数 2019年同月比の推移

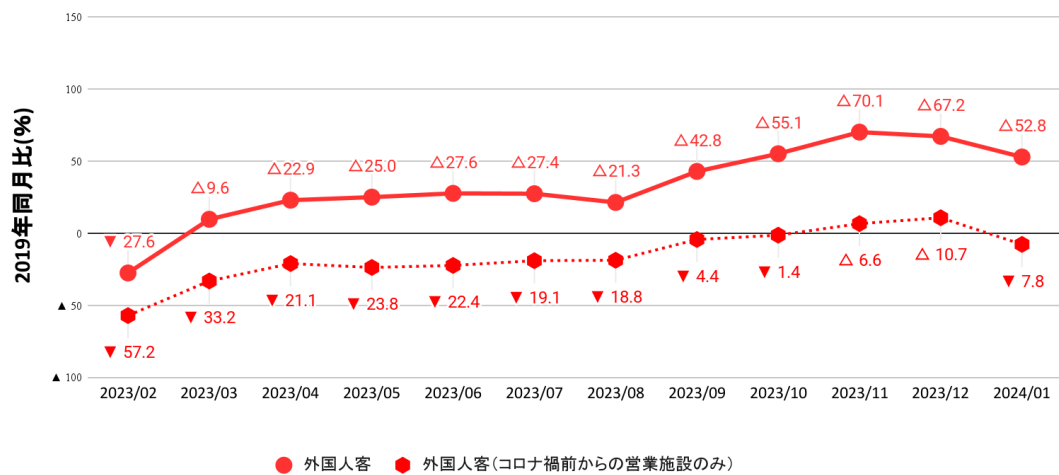
延べ宿泊数(総宿泊客)の2019年同月比



延べ宿泊数(日本人客)の2019年同月比

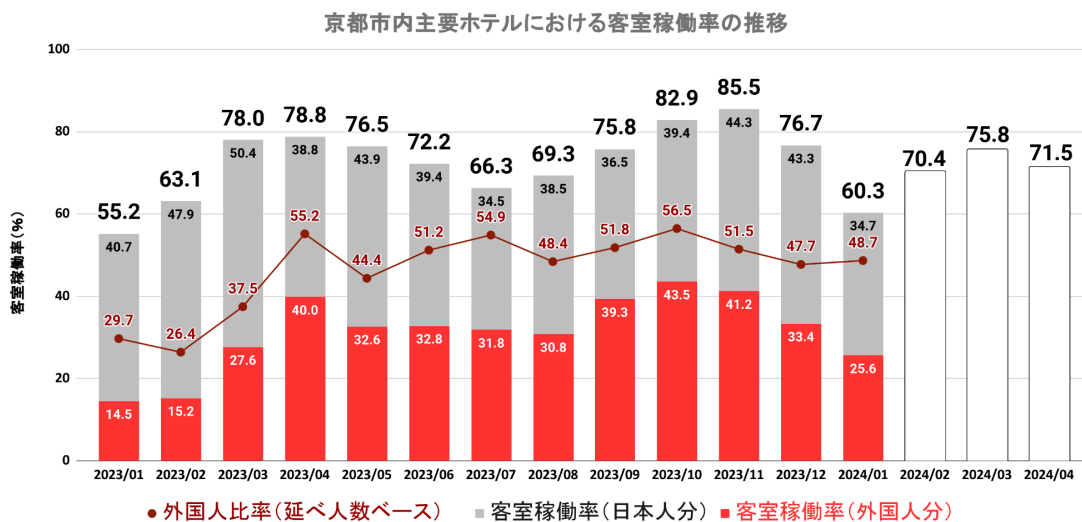


延べ宿泊数(外国人客)の2019年同月比



(3) 客室稼働率・外国人比率の推移

- 京都市内主要ホテル110施設における2024年1月の客室稼働率は60.3%となり、前年同月の55.2%からは5.1ポイント増となった。2019年同月の65.6%からは5.3ポイント減となり、2か月ぶりに2019年同月の水準を下回った。
- 外国人比率は48.7%となり、2019年同月の45.3%からは3.4ポイント増となり、5か月連続で2019年を上回った。
- 1月時点の今後の客室稼働率の予測値は、2月70.4%(2019年同月78.5%)、3月75.8%(同85.0%)、4月71.5%(同89.9%)となった。物価高の影響で、日本人の旅行需要が伸び悩んでいることが影響している可能性がある。また、2月は春節休暇(2024年2月10日～2月17日)があり、例年であれば中華圏の宿泊客が増加する時期ではあるが、中国経済の不景気や、航空路線が回復しきっていないことなどの影響で、需要回復が限定的なものに留まっている。3月後半からの桜の開花シーズンやイースター休暇の予約は増えつつあるが、コロナ禍前と比べて予約の間際化が進んでいることが影響しているためか、いまのところ2019年を上回る水準までは達しない見込みである。

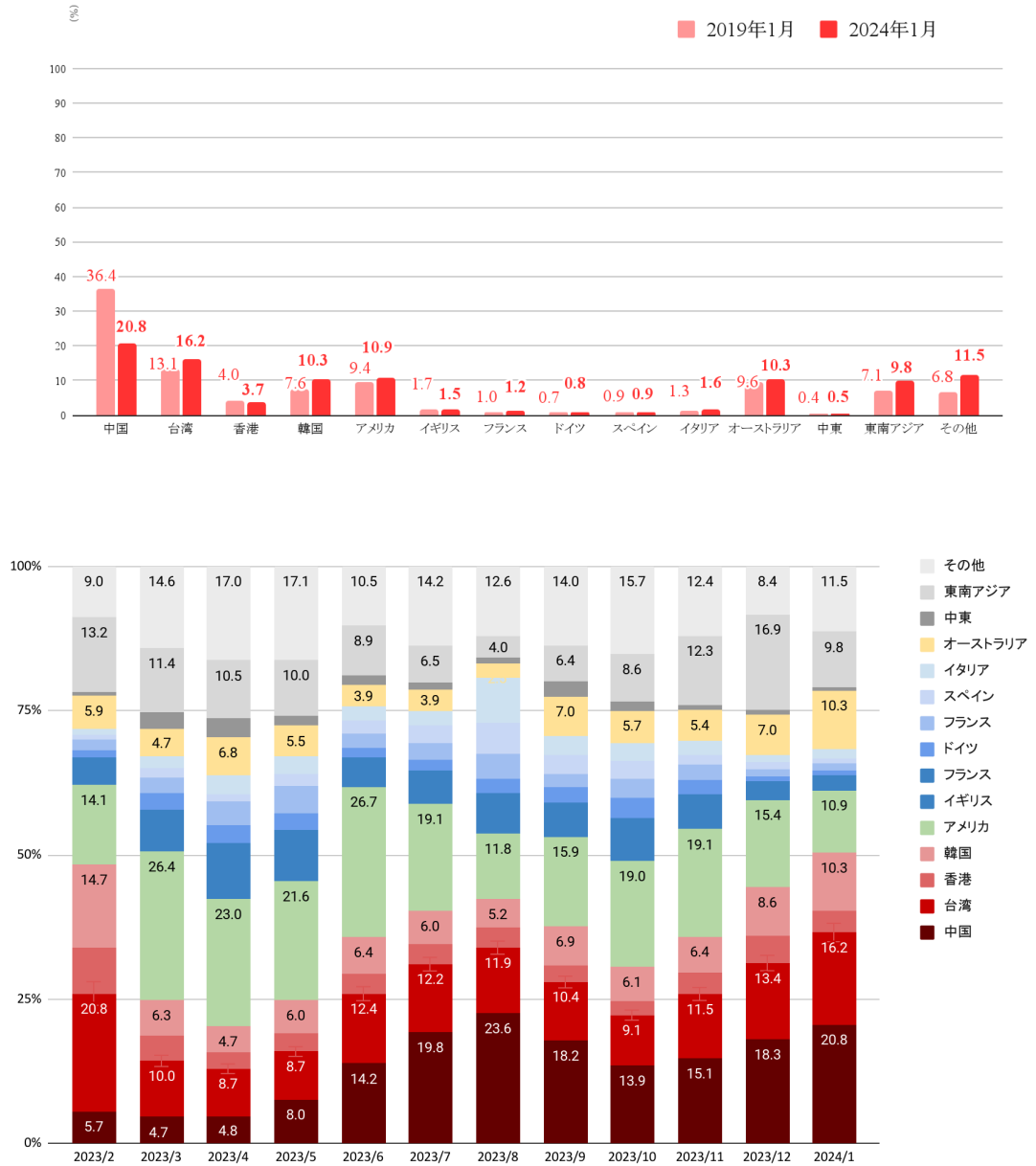


注) 客室稼働率の予測は、調査対象施設の一部における「1か月後」「2か月後」「3か月後」の客室予約状況の前年比データを2017年から収集し、実際の客室稼働率と照らし合わせることで、予測モデルを作成して算出しています。

月別の稼働率・外国人比率の2019年同月差(%)

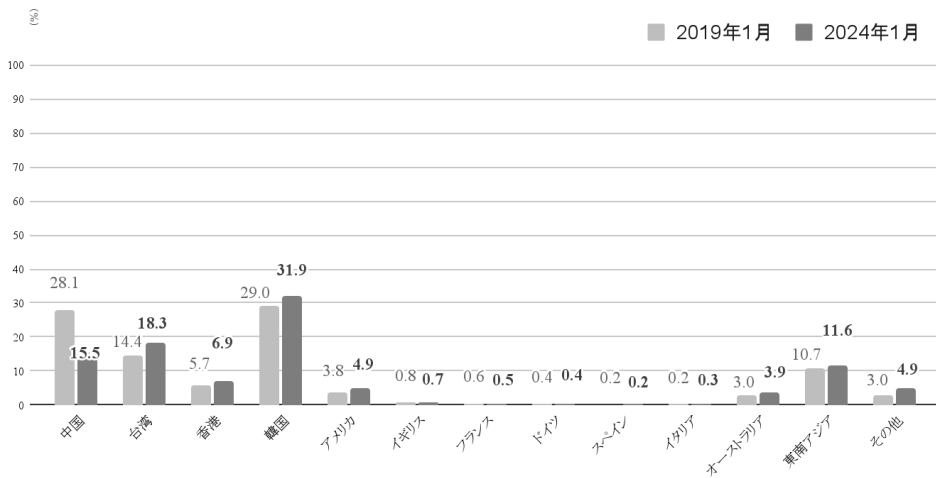
	稼働率			外国人比率		
	当年	2019年	2019年同月差 (pts)	当年	2019年	2019年同月差 (pts)
2023年2月	63.1	78.5	▼15.4	26.4	46.0	▼19.6
2023年3月	78.0	85.0	▼7.0	37.5	47.3	▼9.8
2023年4月	78.8	89.9	▼11.1	55.2	60.0	▼4.8
2023年5月	76.5	83.1	▼6.6	44.4	49.2	▼4.8
2023年6月	72.2	79.8	▼7.6	51.2	55.2	▼4.0
2023年7月	66.3	77.1	▼10.8	54.9	57.4	▼2.5
2023年8月	69.3	83.1	▼13.8	48.4	51.1	▼2.7
2023年9月	75.8	82.9	▼7.1	51.8	49.8	△2.0
2023年10月	82.9	86.1	▼3.2	56.5	55.5	△1.0
2023年11月	85.5	88.4	▼2.9	51.5	46.6	△4.9
2023年12月	76.7	76.1	△0.6	47.7	44.8	△2.9
2024年1月	60.3	65.6	▼5.3	48.7	45.3	△3.4

(4) 国・地域別の延べ宿泊数 構成比



【参考】 訪日外客数・構成比(国・地域別) (実人数)

出典: 日本政府観光局 (JNTO)



(5) 国・地域別の延べ宿泊数 前年同月比・2019年同月比(単位 %)

	京都主要ホテル		京都主要ホテル (2019年から調査対象施設のみ)		訪日外客(JNTO)	
	前年同月比	2019年同月比	前年同月比	2019年同月比	前年同月比	2019年同月比
中国	△ 486.0	▼ 12.8	△ 480.4	▼ 51.8	△ 1,233.0	▼ 44.9
台湾	△ 43.2	△ 89.9	△ 25.6	△ 23.8	△ 89.9	△ 27.0
香港	▼ 12.8	△ 41.8	▼ 21.8	△ 20.1	△ 22.6	△ 20.7
韓国	△ 36.0	△ 106.2	△ 5.0	▼ 10.7	△ 51.6	△ 10.0
アメリカ	△ 61.2	△ 78.3	△ 47.9	△ 20.2	△ 49.6	△ 27.7
イギリス	△ 52.6	△ 37.9	△ 33.1	△ 2.3	△ 31.1	▼ 8.1
フランス	△ 90.8	△ 85.9	△ 108.2	△ 38.1	△ 46.9	▼ 6.0
ドイツ	△ 43.9	△ 92.2	△ 14.2	△ 48.4	△ 40.5	▼ 8.4
スペイン	△ 74.6	△ 56.3	△ 95.2	△ 30.5	△ 54.8	△ 9.5
イタリア	△ 119.9	△ 86.5	△ 113.6	△ 7.0	△ 60.5	△ 14.4
オーストラリア	△ 171.2	△ 63.9	△ 122.6	△ 0.8	△ 97.0	△ 27.8
中東	△ 14.4	△ 94.9	△ 7.5	△ 23.7	未発表	未発表
東南アジア	△ 49.5	△ 109.8	△ 31.6	△ 36.1	△ 35.7	△ 8.0

(6) 入国制限緩和以降の中国人延べ宿泊者数の2019年同月比(2019年から調査対象施設のみ)

		2019年 同月比	前月差 (pts)
2022	10	▼ 97.1%	-
	11	▼ 94.1%	△ 3.0
	12	▼ 87.5%	△ 6.6
2023	1	▼ 91.7%	▼ 4.2
	2	▼ 95.3%	▼ 3.6
	3	▼ 88.0%	△ 7.3
	4	▼ 80.4%	△ 7.6
	5	▼ 74.7%	△ 5.7
	6	▼ 66.2%	△ 8.5
	7	▼ 59.6%	△ 6.6
	8	▼ 54.9%	△ 4.7
	9	▼ 41.4%	△ 13.5
	10	▼ 41.0%	△ 0.4
	11	▼ 39.1%	△ 1.9
	12	▼ 36.9%	△ 2.2
2024	1	▼ 51.8%	▼ 14.9

(7) 平均客室単価および客室収益指数

7-1. 調査対象施設の一部における主要経営指標

- 平均客室単価は15,390円となり、前年同月の13,114円からは17.4%増、2019年同月の12,712円からは21.1%増となった。客室収益指数(平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1室あたりの売上高に相当する)は9,280円となり、前年同月の7,239円から28.2%増、2019年同月の8,339円からは11.3%増となった。

月別の客室平均単価

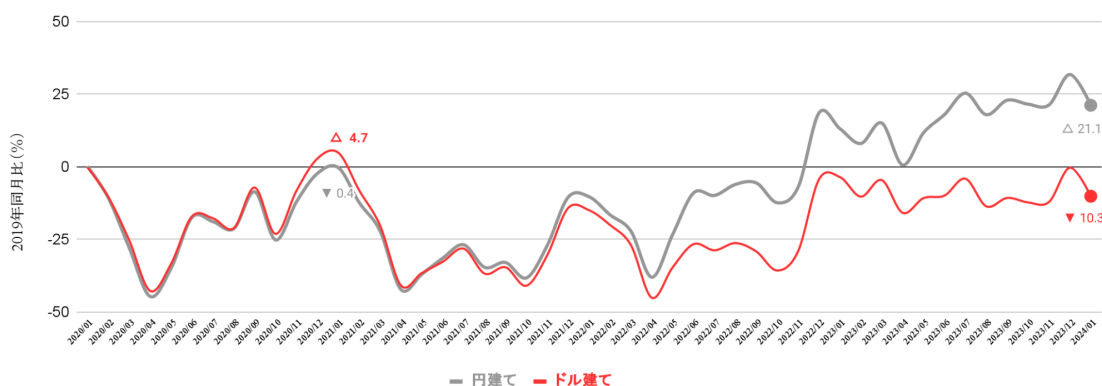
	本年(円)	前年(円)	前年比(%)	2019年(円)	2019年比(%)
2023年 2月	13,626	10,204	△ 33.5	12,628	△ 7.9
2023年 3月	19,754	13,758	△ 43.6	17,185	△ 14.9
2023年 4月	22,451	14,237	△ 57.7	22,341	△ 0.5
2023年 5月	19,326	14,057	△ 37.5	17,318	△ 11.6
2023年 6月	15,533	11,338	△ 37.0	13,181	△ 17.8
2023年 7月	17,491	12,613	△ 38.7	13,966	△ 25.2
2023年 8月	16,303	11,967	△ 36.2	13,838	△ 17.8
2023年 9月	16,179	11,868	△ 36.3	13,175	△ 22.8
2023年 10月	20,329	14,782	△ 37.5	16,739	△ 21.4
2023年 11月	24,458	18,406	△ 32.9	20,186	△ 21.2
2023年 12月	18,204	15,079	△ 20.7	13,825	△ 31.7
2024年 1月	15,390	13,114	△ 17.4	12,712	△ 21.1

月別の客室収益指数

	本年(円)	前年(円)	前年比(%)	2019年(円)	2019年比(%)
2023年 2月	8,598	3,184	△ 170.1	9,913	▼ 13.3
2023年 3月	15,408	6,219	△ 147.8	14,607	△ 5.5
2023年 4月	17,691	6,521	△ 171.3	20,085	▼ 11.9
2023年 5月	14,784	6,902	△ 114.2	14,391	△ 2.7
2023年 6月	11,215	5,669	△ 97.8	10,518	△ 6.6
2023年 7月	11,597	5,941	△ 95.2	10,768	△ 7.7
2023年 8月	11,298	5,972	△ 89.2	11,499	▼ 1.8
2023年 9月	12,264	6,432	△ 90.7	10,922	△ 12.3
2023年 10月	16,853	9,416	△ 79.0	14,412	△ 16.9
2023年 11月	20,912	14,633	△ 42.9	17,844	△ 17.2
2023年 12月	13,962	11,113	△ 25.6	10,521	△ 32.7
2024年 1月	9,280	7,239	△ 28.2	8,339	△ 11.3

7-2. 平均客室単価の2019年同月比推移と為替の影響

- 2024年1月の平均客室単価の2019年同月比は、日本円建てで計算すると21.1%増となった。米ドル建てで換算した場合は10.3%減となった。日本人客と外国人客で客室価格に対する評価が変わる(外国人にとっては、コロナ禍前よりも割安に感じる状態が続いている)ことに留意が必要である。



7-3. 2024年1月の主要都市別主要経営指標 (出典:STR)

STRとの契約の都合上、過去のデータについては、
非公開とさせていただきます。

何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

STRとの契約の都合上、過去のデータについては、
非公開とさせていただきます。

何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

【用語解説】

OCC Occupancy Ratio の略で客室稼働率を示す。

ADR Average Daily Rate の略で平均客室単価を示す。

RevPAR Revenue Per Available Roomsの略で客室収益指標を示す。販売可能客室数あたりの客室売上の数値で、客室稼働率(OCC)×平均客室単価(ADR)で算出される。

当データについては、STRの書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。

報道・メディア媒体への掲載については、(公社)京都市観光協会(担当:堀江)までお問合せください。

旅館統計

(1) 主要指標の一覧

- 市内主要旅館25施設における1月の稼働率は37.7%となり、前月(12月)の68.0%から30.3ポイント減、前年同月の39.1%から1.4ポイント減、コロナ禍前である2019年同月の42.2%から4.5ポイント減となった。5か月ぶりに2019年の稼働率を下回った。
- 日本人延べ宿泊数は前年同月比17.3%減、2019年同月比36.5%減となった。外国人延べ宿泊数は前年同月比17.9%増、2019年同月比48.1%減となり、コロナ禍前を下回った。ただし、調査対象施設数が異なることに留意が必要である。

旅館統計

	2024年1月	2023年12月	前月比・差	2023年1月	前年同月 比・差	2019年1月	2019年同月 比・差
調査対象施設数	25	25		30		30	
販売可能客室数 (1カ月の延べ数)	15,273	16,474	▼ 7.3%	16,315	▼ 6.4%	17,149	▼ 10.9%
稼働客室数(月間)	5,761	11,203	▼ 48.6%	6,386	▼ 9.8%	7,231	▼ 20.3%
客室稼働率	37.7%	68.0%	▼ 30.3pts	39.1%	▼ 1.4pts	42.2%	▼ 4.5pts
総延べ宿泊数	15,454	39,787	▼ 61.2%	16,921	▼ 8.7%	26,055	▼ 40.7%
総実宿泊客数	10,217	23,340	▼ 56.2%	12,893	▼ 20.8%	17,059	▼ 40.1%
一部屋当たり客数	2.68	3.55	▼ 0.87	2.65	△ 0.03	3.60	▼ 0.92
一人当たり宿泊日数	1.51	1.70	▼ 0.19	1.31	△ 0.20	1.53	▼ 0.01
日本人延べ宿泊数	10,547	33,784	▼ 68.8%	12,759	▼ 17.3%	16,599	▼ 36.5%
日本人実宿泊客数	7,116	18,770	▼ 62.1%	8,731	▼ 18.5%	10,726	▼ 33.7%
一人当たり宿泊日数 (日本人)	1.48	1.80	▼ 0.32	1.46	△ 0.02	1.55	▼ 0.07
外国人延べ宿泊数	4,907	6,003	▼ 18.3%	4,162	△ 17.9%	9,456	▼ 48.1%
外国人実宿泊客数	3,101	4,570	▼ 32.1%	4,162	▼ 25.5%	6,333	▼ 51.0%
一人当たり宿泊日数 (外国人)	1.58	1.31	△ 0.27	1.00	△ 0.58	1.49	△ 0.09
外国人比率	31.8%	15.1%	△ 16.7pts	24.6%	△ 7.2pts	36.3%	▼ 4.5pts
価格変動率	△ 64.5%	△ 51.5%	△ 13.0pts	-	-	-	-

注)旅館の価格変動率は、食事無しの素泊まりの場合の価格をもとに算出しております。前月、前年同月の値は当時の発表数値であり、調査対象施設数が異なる場合があるため、比較する際には注意が必要です。

(2) 稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比・2019年同月比の推移、外国人比率の推移

京都市主要旅館の稼働率の推移(%)

	2024年	2023年	2019年
1月	37.7	39.1	42.2
2月		41.3	47.1
3月		55.8	57.2
4月		65.8	79.2
5月		75.3	77.6
6月		74.2	69.9
7月		44.2	50.4
8月		43.1	47.3
9月		68.8	61.1
10月		72.7	70.0
11月		77.9	71.3
12月		68.0	62.9
年間		61.1	61.7

延べ宿泊数 前年同月比・2019年同月比

	日本人客 (前年同月比)	外国人客 (前年同月比)	総宿泊客 (前年同月比)	日本人客 (2019年同月比)	外国人客 (2019年同月比)	総宿泊客 (2019年同月比)
2023年2月	△ 267.2%	△ 36460.0%	△ 352.7%	▼ 5.3%	▼ 45.6%	▼ 17.0%
2023年3月	△ 5.6%	△ 29851.9%	△ 50.9%	▼ 4.7%	▼ 11.7%	▼ 7.0%
2023年4月	△ 83.6%	△ 13582.7%	△ 152.7%	▼ 16.5%	▼ 3.5%	▼ 13.2%
2023年5月	▼ 12.2%	△ 9904.8%	▼ 2.3%	▼ 12.2%	△ 22.4%	▼ 9.6%
2023年6月	▼ 9.3%	△ 5313.0%	▼ 1.9%	▼ 10.0%	△ 1.6%	▼ 9.2%
2023年7月	▼ 40.0%	△ 6927.8%	▼ 7.8%	▼ 20.5%	▼ 12.6%	▼ 17.9%
2023年8月	△ 10.9%	△ 7793.8%	△ 96.2%	▼ 52.8%	△ 17.0%	▼ 36.0%
2023年9月	▼ 3.0%	△ 2409.5%	△ 7.9%	△ 6.2%	△ 20.3%	△ 7.5%
2023年10月	△ 6.0%	△ 729.6%	△ 19.2%	▼ 1.9%	△ 33.3%	△ 1.5%
2023年11月	▼ 5.5%	△ 92.2%	△ 1.4%	▼ 8.0%	▼ 1.0%	▼ 7.1%
2023年12月	▼ 17.6%	△ 46.2%	▼ 11.8%	▼ 25.6%	△ 23.0%	▼ 20.9%
2024年1月	▼ 17.3%	△ 17.9%	▼ 8.7%	▼ 36.5%	▼ 48.1%	▼ 40.7%

外国人比率

	2024年	2023年	2019年
1月	31.8%	24.6%	36.3%
2月		19.1%	29.1%
3月		30.1%	31.7%
4月		27.7%	24.9%
5月		10.2%	7.5%
6月		7.7%	6.9%
7月		35.3%	33.2%
8月		44.1%	24.1%
9月		10.5%	9.4%
10月		12.7%	9.7%
11月		13.5%	12.7%
12月		15.1%	9.7%

市場環境全般

(1) 宿泊予約サイトにおける12週間先までの客室販売価格の推移

- 京都市内宿泊施設の12週間先までの客室販売価格は、3/2以外の週では前年同期を上回っている

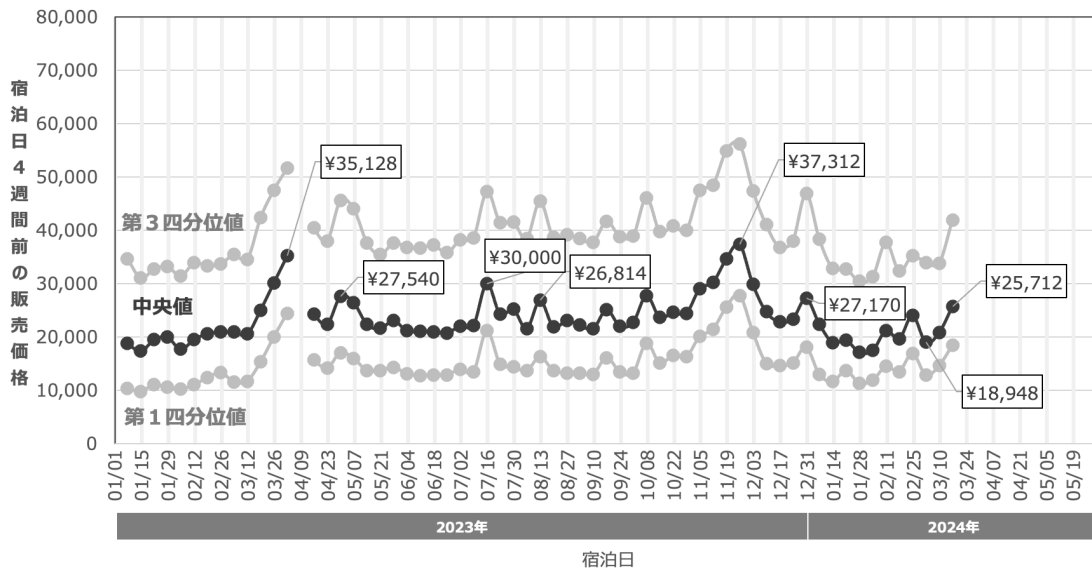
調査期間	概ね毎週火曜日に価格検索を実施 検索日の週末から、12週先の週末までの12回分のデータを取得
調査対象	トラベルコで京都市内のホテル・旅館・簡易宿所等の宿泊施設を検索したときに表示される価格
検索条件	「1室2名食事なし、税抜価格、毎週土曜日にチェックインし翌日の日曜日にチェックアウト」の条件で表示される価格を集計。
集計条件	異常に高額な施設(外れ値)の影響を回避するため、平均値ではなく中央値を算出。 予約サイトに掲載されている価格は、最終的に購入されなかった客室の価格も含まれることになる。一方で、P15のSTR社による平均客室単価(ADR)は、実際に購入された価格をもとに算出される。したがって、これらの値は単純に比較できるものではない。

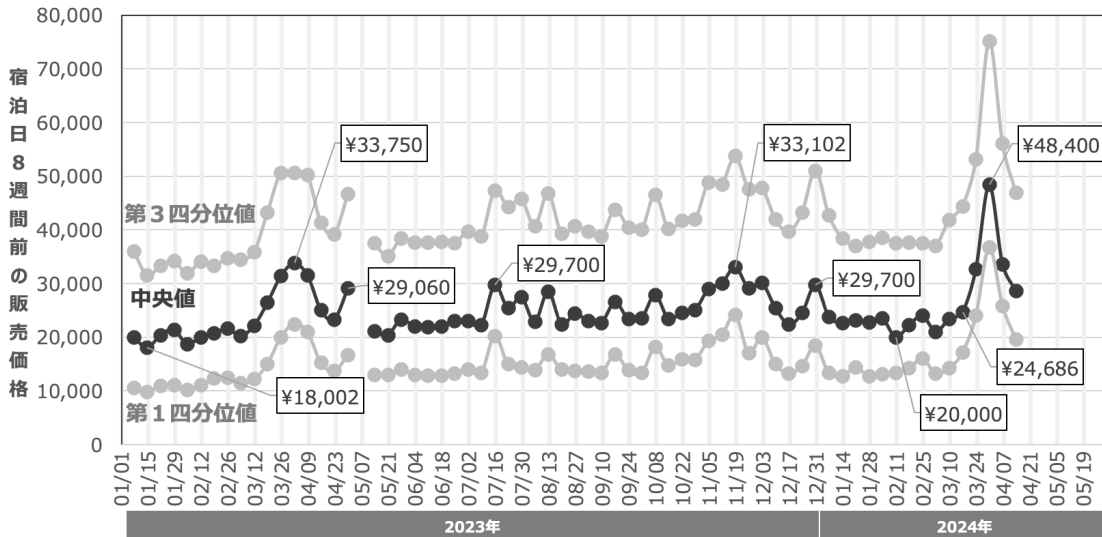
第3四分位値: 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて75%の位置にあたる施設の価格。

中央値: 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて50%の位置にあたる施設の価格。

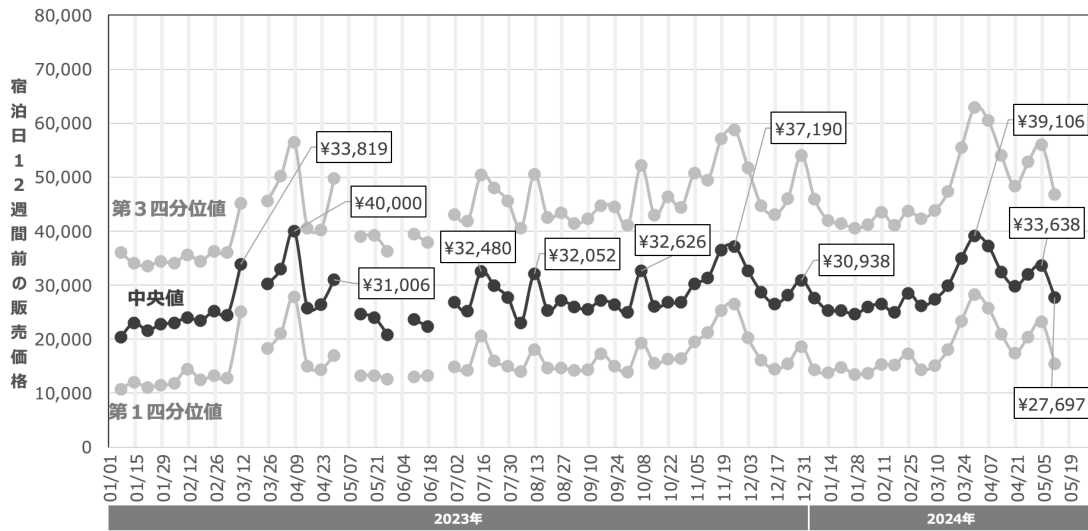
第1四分位値: 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて25%の位置にあたる施設の価格。

予約サイトにおける客室販売価格の推移





宿泊日



宿泊日

検索時に指定した宿泊日	検索した タイミング	価格の中央値(円)	前年同時期の 中央値(円)	前年同期比
2024/2/24	宿泊日の 4週間前	23,994	20,838	△ 15.1%
2024/3/2		18,948	20,874	▼ 9.2%
2024/3/9		20,794	20,495	△ 1.5%
2024/3/16		25,712	25,000	△ 2.8%
2024/3/23	宿泊日の 8週間前	32,691	31,360	△ 4.2%
2024/3/30		48,400	33,750	△ 43.4%
2024/4/6		33,600	31,501	△ 6.7%
2024/4/13		28,624	25,044	△ 14.3%
2024/4/20	宿泊日の 12週間前	29,787	26,400	△ 12.8%
2024/4/27		32,000	31,000	△ 3.2%
2024/5/4		33,638	-	-
2024/5/11		27,697	24,601	△ 12.6%

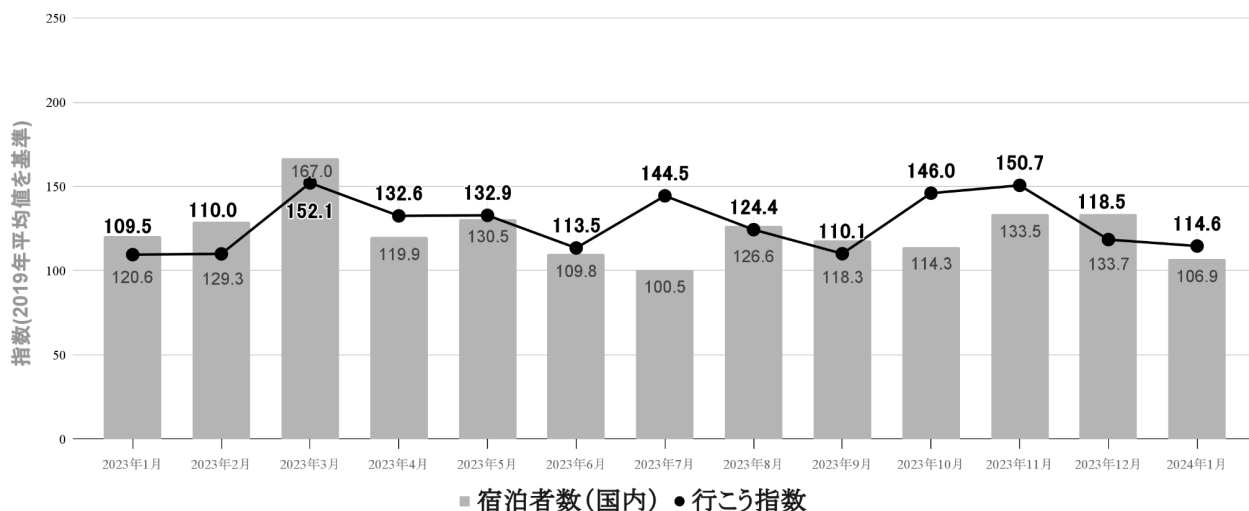
※2024年5月4日の前年同期は、調査対象となるサンプル数が少ない為、データが欠損しております。

(2) 京都観光意向指数(通称:行こう指数)

2-1. 日本人の訪問意向

- インターネット上における京都観光への訪問意向に関するデータをもとに集計した「行こう指数」の2024年1月の値は114.6(2019年の平均値を100とした場合)となり、前月(12月)の118.5からは下落したものの、前年同月の109.5は上回った。平安京を舞台にした大河ドラマ「光る君へ」の放送が開始された影響が大きいと思われる。

日本人における京都観光訪問意向指数(行こう指数)の推移



2024年1月に注目を集めた京都観光関連の主な番組・ニュース

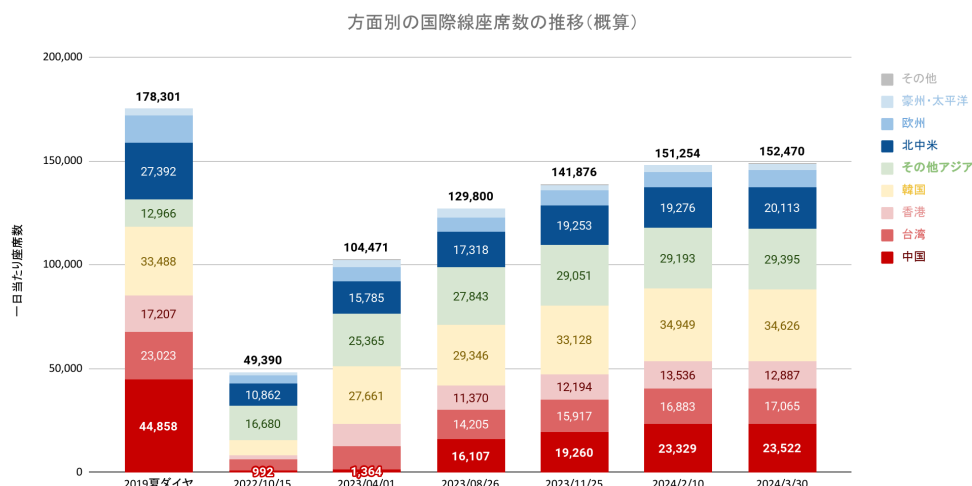
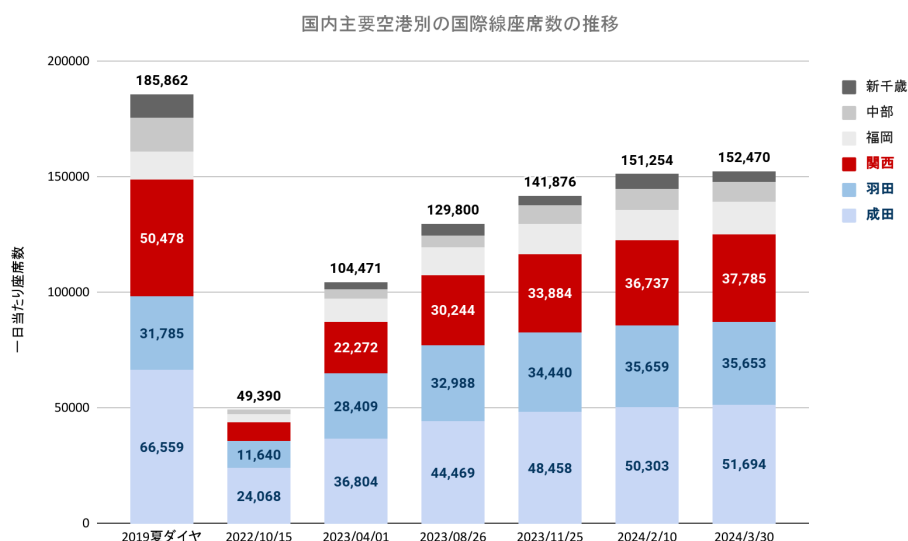
報道日時	媒体	局名・掲載媒体	番組名・記事名	内容、取材スポットなど
1/8(月)	TV	TBS	京都府京都市・初雪観測	金閣寺
1/10(水)	Web	Billboard JAPAN	Ado「唱」がストリーミング15連覇達成	東本願寺
1/13(土)	TV	日本テレビ	今夜はSHOWチャンネル&新空港占拠第一話SP	伏見稲荷大社
1/13(土)	TV	NHK	光る君へ	平安神宮、大極殿
1/14(日)	SNS	X(旧Twitter)	アニメ「青春ブタ野郎はスクールメモリーの夢を見ない」展示会	京都開催決定
1/19(金)	Web	サンケイスポーツ	JUNNA、マクロス×歌舞伎の企画展プレイイベント出席「感動しました」	南座
1/31(水)	SNS	X(旧Twitter)	映画村×ゲゲゲの鬼太郎コラボ決定	東映太秦映画村

出所) VLeライナック社「i-Catch」、「Destination Insights with Google」

ヴァリューズ社「dockpit」、当協会運営「京都観光Navi」データを活用し独自に集計

(3) 国内主要空港別の国際線到着便座席数の推移・方面別の国際線到着便座席数の推移

- 2024年2月9日時点で調査した3月30日の国際線到着便の予定座席数は、関西国際空港では37,785席となり、2019年夏ダイヤの50,478席から25.1%減まで回復している。ただし、他空港分も含めると2019年夏ダイヤから18.0%減まで回復する見込みである。なお、座席数は調査時点での予定数であり、2019年夏ダイヤの座席数は出典元が異なるため単純比較が出来ないことに留意が必要である。
- 方面別の国際線座席数の推移(概算)でみると、中国方面からの3月30日到着便の予定座席数は2019年夏ダイヤから50.3%減であり増加傾向にあるものの、2019年の水準には満たない状態が続いている。



出所) 週刊トラベルジャーナル、ANA総合研究所「2019年度夏季スケジュール国際線航空輸送座席供給量」
 および空港会社・航空会社のダイヤ情報をもとに京都市観光協会において集計

対象日	2019年夏	2022/10/15	2023/4/1	2023/8/26	2023/11/25	2024/2/10	2024/3/30
調査日	2019年夏	2022/10/4	2023/3/16	2023/8/9	2023/11/9	2024/1/10	2024/2/9

(4) 京都市内の宿泊施設数・客室の推移

- 2024年1月末時点での京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、前月から18軒開業、13軒廃業、差し引き5軒増加して、3,432軒となり、前年同月の3,461軒からは0.8%の減少となった。総客室数(推計)は57,555室となり、前年同月の58,699室から1.9%の減少となった。

	施設数						客室数			
	ホテル・ 旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル・ 旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年比
2014年度 (2015.3月末)	542	460	1,002	—	106	-	26,260	2,929	29,189	—
2015年度 (2016.3月末)	532	696	1,228	△ 22.6%	255	29	26,297	3,489	29,786	△ 2.0%
2016年度 (2017.3月末)	550	1,493	2,043	△ 66.4%	838	23	27,753	6,134	33,887	△ 13.8%
2017年度 (2018.3月末)	575	2,291	2,866	△ 40.3%	909	86	29,172	9,247	38,419	△ 13.4%
2018年度 (2019.3月末)	624	2,990	3,614	△ 26.1%	919	171	33,608	12,539	46,147	△ 20.1%
2019年度 (2020.3月末)	656	3,337	3,993	△ 10.5%	663	284	36,243	17,228	53,471	△ 15.9%
2020年度 (2021.3月末)	679	3,104	3,783	▼ 5.3%	422	632	39,729	16,454	56,183	△ 5.1%
2021年度 (2022.3月末)	680	2,887	3,567	▼ 5.7%	203	419	42,065	16,551	58,616	△ 4.3%
2022年度 (2023.3月末)	650	2,794	3,444	▼ 3.4%	143	266	42,579	16,001	58,580	▼ 0.1%

	施設数						客室数			
	ホテル・ 旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年同月 比	新規開業	廃業	ホテル・ 旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年同月 比
2023.1月末	657	2,804	3,461	▼ 4.2%	9	26	42,638	16,061	58,699	△ 0.2%
2023.2月末	653	2,793	3,446	▼ 4.2%	11	26	42,577	15,997	58,574	▼ 0.6%
2023.3月末	650	2,794	3,444	▼ 3.4%	21	23	42,579	16,001	58,580	▼ 0.1%
2023.4月末	646	2,792	3,438	▼ 3.6%	16	22	42,317	15,990	58,307	▼ 0.5%
2023.5月末	647	2,784	3,431	▼ 3.1%	23	30	42,382	15,944	58,326	▼ 0.3%
2023.6月末	640	2,774	3,414	▼ 3.1%	16	33	41,924	15,886	57,810	▼ 1.2%
2023.7月末	640	2,756	3,396	▼ 3.5%	12	30	41,924	15,783	57,707	▼ 1.8%
2023.8月末	642	2,768	3,410	▼ 2.8%	22	8	42,055	15,852	57,907	▼ 1.9%
2023.9月末	642	2,772	3,414	▼ 2.5%	24	20	42,055	15,875	57,930	▼ 2.2%
2023.10月末	640	2,775	3,415	▼ 2.7%	16	15	41,924	15,892	57,816	▼ 2.9%
2023.11月末	641	2,777	3,418	▼ 1.8%	17	14	41,989	15,904	57,893	▼ 2.3%
2023.12月末	637	2,790	3,427	▼ 1.5%	18	9	41,727	15,978	57,706	▼ 2.7%
2024.1月末	634	2,798	3,432	▼ 0.8%	18	13	41,531	16,024	57,555	▼ 1.9%

出所)京都市 保健福祉局「旅館業法に基づく許可施設数の推移」をもとに集計

注)客室数は年度末(毎年3月末)時点しか発表されないため、それ以外の月の数値は、年度末の施設あたり客室数をもとに補完推計して算出しています。

(5) ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況

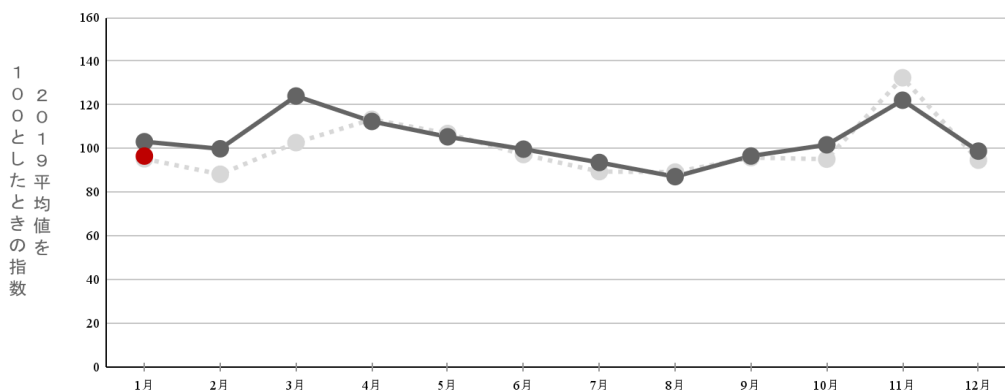
5-1. 市内の日本人来街者数の実績

京都市内の主要地点39箇所における日本人来街者数^{*}を、携帯電話の位置情報をもとにしたビッグデータから以下の通り集計した。

- 2024年1月の来街者指数は96.5(2019年の平均値を100とした場合)となり、コロナ禍前である2019年同月の95.3を1.2ポイント上回った。
- 地点別の指数の2019年同月比をみると、観光地を中心に2019年を下回った。

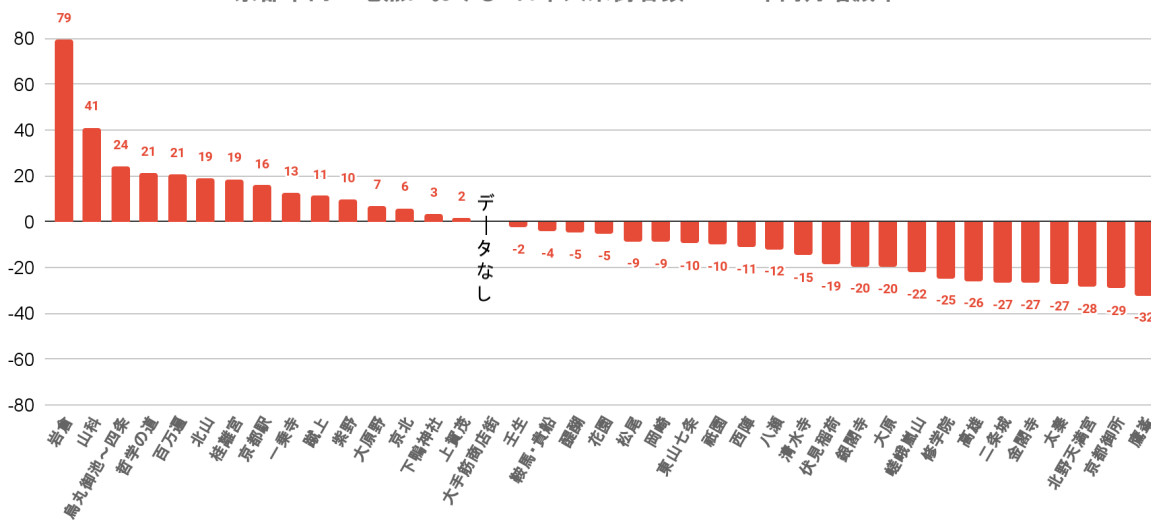
※ 測定の対象とする地域内の居住者や、通勤等の目的で頻繁に来訪・滞在する人以外で、当該地域を訪れる人の数

京都市内39地点における日本人来街者指数の推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
● 2019	95.3	88.2	102.7	113.3	106.8	97.2	89.4	89.2	95.8	95.1	132.4	94.6
● 2023	103.1	99.8	124.0	112.4	105.3	99.7	93.6	87.1	96.5	101.7	122.1	98.8
● 2024	96.5											

京都市内39地点における 日本人来街者数 2019年同月増減率



注) 大手筋商店街は2019年1月のデータが欠損しております。

出所) KDDI社のスマートフォン位置情報(KDDI Location Analyzer)をもとに集計

2022年6月分から上記システムの集計精度が高まった為、過去のデータとの単純比較はできません。

5-2. 年代別の分布

- 京都駅周辺の来街者数は、50代・70歳以上の年代で、前年同月から増加した。
- 年代別構成比での60代以上が占める割合は25.6%と前月27.4%から減少した。

京都駅周辺の来街者数の前年同月比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
2023	1	△ 52.1%	△ 48.7%	△ 43.3%	△ 36.7%	△ 44.7%	△ 47.4%
2023	2	△ 76.5%	△ 73.6%	△ 80.0%	△ 95.4%	△ 54.4%	△ 134.9%
2023	3	△ 56.4%	△ 46.4%	△ 51.2%	△ 64.8%	△ 32.5%	△ 107.3%
2023	4	△ 29.5%	△ 22.0%	△ 28.6%	△ 41.7%	△ 3.1%	△ 63.5%
2023	5	△ 29.4%	△ 14.9%	△ 19.5%	△ 30.2%	▼ 3.2%	△ 42.2%
2023	6	△ 2.3%	▼ 10.7%	△ 0.2%	△ 8.9%	▼ 16.9%	△ 14.1%
2023	7	▼ 1.1%	▼ 5.3%	△ 1.8%	△ 12.6%	▼ 12.5%	△ 26.8%
2023	8	△ 4.3%	△ 1.1%	△ 11.8%	△ 21.9%	▼ 5.5%	△ 38.1%
2023	9	▼ 5.0%	▼ 11.0%	▼ 1.9%	△ 9.8%	▼ 13.8%	△ 21.9%
2023	10	▼ 10.2%	▼ 9.9%	▼ 2.9%	△ 3.2%	▼ 18.8%	△ 10.7%
2023	11	▼ 4.4%	▼ 9.6%	▼ 3.5%	△ 3.6%	▼ 23.1%	△ 1.8%
2023	12	▼ 1.8%	▼ 8.0%	△ 1.6%	△ 12.5%	▼ 16.3%	△ 13.0%
2024	1	▼ 3.4%	▼ 9.2%	▼ 1.0%	△ 13.6%	▼ 14.3%	△ 22.8%

京都駅周辺の来街者の年代別構成比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
2023	1	23.3%	18.7%	18.4%	14.7%	13.6%	11.4%
2023	2	22.1%	15.9%	17.7%	17.2%	12.1%	14.9%
2023	3	20.8%	14.2%	17.3%	16.7%	12.7%	18.3%
2023	4	18.8%	14.8%	17.0%	16.5%	13.1%	19.8%
2023	5	21.4%	16.1%	16.8%	16.0%	12.7%	17.0%
2023	6	20.5%	15.5%	17.0%	16.4%	13.3%	17.3%
2023	7	21.2%	16.2%	17.8%	16.9%	12.9%	15.1%
2023	8	23.2%	16.4%	19.6%	16.7%	11.3%	12.7%
2023	9	23.1%	15.9%	17.0%	16.3%	12.4%	15.3%
2023	10	19.6%	15.8%	16.9%	16.2%	13.3%	18.3%
2023	11	19.9%	15.0%	16.1%	16.1%	13.8%	19.2%
2023	12	21.8%	16.4%	17.9%	16.5%	12.3%	15.1%
2024	1	22.5%	17.0%	18.2%	16.7%	11.6%	14.0%

出所)KDDI社のスマートフォン位置情報(KDDI Location Analyzer)をもとに集計

(6) 京都市内4百貨店における免税売上げ

	2024年1月	2023年1月	前年同月比	2019年1月	2019年同月比
免税件数	29,989件	13,161件	△127.9%	27,039件	△ 10.9%
免税単価	8万1,841円	7万4,897円	△ 9.3%	4万5,231円	△ 80.9%
免税売上額	24億5,432万円	9億8,573万円	△149.0%	12億2,300万円	△100.7%
総売上額	198億4,431万円	180億4,717万円	△ 10.0%	198億4,070万円	△ 0.0%
免税売上割合	12.4%	5.5%	△ 6.9pts	6.2%	△ 6.2pts

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上げ等も含まれます(税別)

		免税売上(万円)					免税割合				
		当年	前年	前年比	2019年	2019年比	当年	前年	前年差 (pts)	2019年	2019年差 (pts)
2023	2月	226,152	11,283	△ 1904.4%	167,735	△ 34.8%	14.6%	0.9%	△ 13.7	9.9%	△ 4.7
	3月	113,084	9,375	△ 1106.2%	172,657	▼ 34.5%	5.8%	0.6%	△ 5.2	8.3%	▼ 2.5
	4月	152,514	10,638	△ 1333.7%	199,274	▼ 23.5%	8.6%	0.7%	△ 7.9	10.9%	▼ 2.3
	5月	143,956	11,246	△ 1180.1%	161,464	▼ 10.8%	8.0%	0.7%	△ 7.3	9.0%	▼ 1.0
	6月	188,915	13,800	△ 1268.9%	146,483	△ 29.0%	10.0%	0.8%	△ 9.2	7.8%	△ 2.2
	7月	217,563	20,561	△ 958.1%	142,221	△ 53.0%	10.6%	1.2%	△ 9.4	7.3%	△ 3.3
	8月	204,311	17,404	△ 1073.9%	124,208	△ 64.5%	12.0%	1.2%	△ 10.8	7.3%	△ 4.7
	9月	237,931	17,715	△ 1243.1%	118,425	△ 100.9%	13.0%	1.1%	△ 11.9	5.7%	△ 7.3
	10月	304,274	54,331	△ 460.0%	135,393	△ 124.7%	14.7%	3.1%	△ 11.6	8.5%	△ 6.2
	11月	342,893	97,562	△ 251.5%	159,972	△ 114.3%	15.2%	4.9%	△ 10.3	8.0%	△ 7.2
	12月	349,058	122,130	△ 185.8%	142,600	△ 144.8%	12.2%	4.6%	△ 7.6	5.5%	△ 6.7
	2024	1月	245,432	98,573	△149.0%	122,300	△ 100.7%	12.4%	5.5%	△ 6.9	6.2%

免税売上額に占める国・地域別割合(構成比)

順位	2024年1月				2019年1月	
	国・地域名	構成比	前年同月差	2019年同月差	国・地域名	構成比
1	中国	53.6%	△ 35.1pts	▼ 24.3pts	中国	77.9%
2	台湾	13.6%	▼ 18.0pts	△ 7.8pts	台湾	5.8%
3	香港	7.0%	▼ 7.8pts	△ 3.3pts	香港	3.7%
4	韓国	6.6%	▼ 1.2pts	△ 3.9pts	韓国	2.7%
5	アメリカ	3.4%	▼ 0.4pts	△ 2.4pts	オーストラリア	1.1%

注)2年以上外国に滞在する日本人が一時帰国し、入国後6か月未満である場合も免税対象となります。

これに該当する免税売上げは国・地域別構成比の計算に含めているが、ランキングからは除外しています。

(7) 京都総合観光案内所(京なび)利用者数 ※JR京都駅ビル2階

相談者数 (人)	2024年 1月	2023年 12月	前月比	2023年 1月	前年 同月比	2019年 1月	2019年 同月比
日本人	11,945	18,002	▼ 33.6%	14,176	▼ 15.7%	28,482	▼ 58.1%
外国人	10,573	14,116	▼ 25.1%	7,335	△ 44.1%	19,469	▼ 45.7%
合計	22,518	32,118	▼ 29.9%	21,511	△ 4.7%	47,951	▼ 53.0%
外国人 比率	47.0%	44.0%	△ 3.0 pts	34.1%	△ 12.9 pts	40.6%	△ 6.4 pts

来所者数 (自動カウント機 による)	2024年 1月	2023年 12月	前月比	2023年 1月	前年 同月比	2019年 1月	2019年 同月比
	58,010	69,682	▼ 16.8%	52,323	△ 10.9%	103,946	▼ 44.2%

外国人相談者における国・地域別割合

順位	2024年1月		2023年12月		2023年1月		2019年1月	
	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比
1	韓国	17.4%	韓国	15.2%	韓国	22.5%	中国	21.5%
2	台湾	15.7%	中国	11.2%	台湾	17.6%	韓国	20.1%
3	オーストラリア	8.5%	シンガポール	10.9%	アメリカ	9.5%	台湾	10.9%
4	アメリカ	7.7%	台湾	9.4%	オーストラリア	8.0%	オーストラリア	8.1%
5	中国	7.7%	アメリカ	7.2%	シンガポール	7.4%	アメリカ	6.7%

(8) 為替レートの推移

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国人民幣元	タイバーツ	韓国ウォン	
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	3.497	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	3.544	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	3.567	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	3.582	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	3.480	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	3.414	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	3.445	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	3.348	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	3.414	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	3.482	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	3.535	15.2	3.52	9.1
	12月	108.2	119.8	139.0	73.1	13.6	3.568	15.3	3.54	9.1
2022	1月	113.9	128.5	151.7	80.5	14.3	4.108	17.8	3.38	9.4
	2月	114.2	129.1	151.9	80.4	14.3	4.090	17.9	3.45	9.4
	3月	117.5	129.1	152.2	85.3	14.7	4.128	18.4	3.49	9.5
	4月	125.0	135.0	159.5	91.1	15.6	4.284	19.3	3.66	10.0
	5月	127.8	134.8	156.2	88.6	16.0	4.309	18.8	3.66	10.0
	6月	132.9	140.1	161.1	92.1	16.6	4.480	19.7	3.76	10.3
	7月	135.8	138.0	160.2	91.8	17.0	4.538	20.0	3.69	10.3
	8月	134.2	135.3	158.0	92.0	16.8	4.452	19.6	3.69	10.1
	9月	142.1	140.2	158.2	93.7	17.8	4.545	20.1	3.79	10.1
	10月	146.2	143.4	162.4	91.7	18.3	4.567	20.2	3.80	10.1
	11月	141.5	143.7	163.1	91.9	17.8	4.487	19.5	3.83	10.3
	12月	134.1	141.4	160.4	89.1	16.9	4.366	19.0	3.80	10.3
2023	1月	129.4	139.2	155.7	88.7	16.2	4.240	18.9	3.86	10.3
	2月	131.8	140.8	156.5	89.8	16.5	4.359	19.1	3.83	10.2
	3月	132.9	141.8	158.4	87.4	16.6	4.343	19.1	3.80	10.1
	4月	132.4	144.7	161.9	87.3	16.6	4.325	19.1	3.82	9.9
	5月	136.4	147.7	167.5	89.3	17.1	4.433	19.3	3.94	10.2
	6月	140.3	151.6	174.4	92.7	17.6	4.545	19.4	3.97	10.7
	7月	140.3	154.6	177.8	93.1	17.6	4.492	19.3	4.00	10.8
	8月	143.8	156.5	180.2	92.0	18.1	4.513	19.7	4.06	10.8
	9月	146.7	156.3	179.3	92.8	18.4	4.573	19.9	4.05	10.9
	10月	148.6	156.5	178.1	93.1	18.7	4.593	20.1	4.02	10.9
	11月	149.0	160.6	182.2	95.3	18.8	4.657	20.4	4.15	11.3
	12月	143.1	155.8	178.4	94.5	18.0	4.569	19.9	4.04	10.9
2024	1月	145.7	158.4	182.4	95.3	18.3	4.662	20.1	4.08	10.9

※韓国ウォンは100ウォンあたりのレート

出所)三菱UFJリサーチ&コンサルティング 外国為替相場

宿泊状況調査結果詳細 (2024年1月)

(公社)京都市観光協会
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2024年(1月)														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2024	2023	伸率	2024 構成比	2023 構成比	2024	2023	伸率	2024 構成比	2023 構成比	2024	2023	伸率	2024 構成比	2023 構成比
北米	アメリカ	12,255	7,566	62.0%	10.3%	11.5%	33,089	20,528	61.2%	10.9%	13.0%	17,436	11,096	57.5%	11.7%	13.5%
	カナダ	1,585	1,242	27.6%	1.3%	1.9%	4,517	3,149	43.4%	1.5%	2.0%	2,293	1,691	35.9%	1.5%	2.1%
	北米小計	13,840	8,808	57.1%	11.6%	13.4%	37,606	23,677	58.8%	12.4%	15.0%	19,729	12,787	54.6%	13.2%	15.5%
中南米	メキシコ	894	226	295.6%	0.8%	0.3%	2,481	668	271.4%	0.8%	0.4%	1,277	322	297.5%	0.9%	0.4%
	ブラジル	947	274	245.6%	0.8%	0.4%	3,061	930	229.1%	1.0%	0.6%	1,321	434	205.0%	0.9%	0.5%
	その他	781	169	362.1%	0.7%	0.3%	2,040	924	120.8%	0.7%	0.6%	1,073	483	122.6%	0.7%	0.6%
	南米小計	2,622	669	291.9%	2.2%	1.0%	7,582	2,522	200.6%	2.5%	1.6%	3,671	1,239	196.9%	2.5%	1.5%
ヨーロッパ	イギリス	1,705	1,063	60.4%	1.4%	1.6%	4,629	3,034	52.6%	1.5%	1.9%	2,531	1,804	40.6%	1.7%	2.2%
	フランス	1,258	690	82.3%	1.1%	1.0%	3,566	1,869	90.8%	1.2%	1.2%	1,944	1,141	70.8%	1.3%	1.4%
	ドイツ	895	528	69.5%	0.8%	0.8%	2,503	1,740	43.9%	0.8%	1.1%	1,457	1,070	36.5%	1.0%	1.3%
	イタリア	1,372	576	138.2%	1.2%	0.9%	4,704	2,139	119.9%	1.6%	1.4%	2,414	1,149	110.6%	1.6%	1.4%
	オランダ	418	197	112.2%	0.4%	0.3%	1,079	624	72.9%	0.4%	0.4%	590	355	66.6%	0.4%	0.4%
	スペイン	914	544	68.0%	0.8%	0.8%	2,689	1,540	74.6%	0.9%	1.0%	1,388	831	67.4%	0.9%	1.0%
	スイス	360	255	41.2%	0.3%	0.4%	802	693	15.7%	0.3%	0.4%	427	407	5.1%	0.3%	0.5%
	スウェーデン	230	134	71.6%	0.2%	0.2%	524	278	88.5%	0.2%	0.2%	278	157	77.5%	0.2%	0.2%
	フィンランド	104	33	215.2%	0.1%	0.1%	279	100	179.0%	0.1%	0.1%	154	67	130.4%	0.1%	0.1%
	ロシア	351	173	102.9%	0.3%	0.3%	681	367	85.6%	0.2%	0.2%	353	199	77.8%	0.2%	0.2%
	その他	1,497	871	71.9%	1.3%	1.3%	4,170	2,501	66.7%	1.4%	1.6%	2,221	1,416	57.2%	1.5%	1.7%
ヨーロッパ小計	9,104	5,064	79.8%	7.6%	7.7%	25,626	14,885	72.2%	8.5%	9.4%	13,757	8,596	60.4%	9.2%	10.5%	
東アジア	中国	27,194	4,093	564.4%	22.8%	6.2%	62,904	10,735	486.0%	20.8%	6.8%	32,687	5,629	482.0%	21.9%	6.8%
	台湾	20,762	15,654	32.6%	17.4%	23.8%	49,139	34,305	43.2%	16.2%	21.7%	23,685	16,723	41.9%	15.9%	20.3%
	香港	4,911	5,840	-15.9%	4.1%	8.9%	11,327	12,988	-12.8%	3.7%	8.2%	5,834	6,504	-10.1%	3.9%	7.9%
	韓国	13,027	9,140	42.5%	10.9%	13.9%	31,054	22,840	36.0%	10.3%	14.4%	15,281	11,587	32.2%	10.2%	14.1%
東アジア小計	65,894	34,727	89.7%	55.4%	52.7%	154,424	80,868	91.0%	51.0%	51.1%	77,487	40,443	92.0%	52.0%	49.2%	
東南アジア	フィリピン	844	868	-2.8%	0.7%	1.3%	2,288	1,022	123.9%	0.8%	0.6%	1,364	737	85.5%	0.9%	0.9%
	ベトナム	291	886	-67.2%	0.2%	1.3%	497	661	-24.8%	0.2%	0.4%	256	563	-54.4%	0.2%	0.7%
	タイ	2,402	1,281	87.5%	2.0%	1.9%	5,000	2,630	90.1%	1.7%	1.7%	2,485	1,245	100.0%	1.7%	1.5%
	インドネシア	3,170	1,293	145.2%	2.7%	2.0%	6,745	2,833	138.1%	2.2%	1.8%	2,951	1,351	118.9%	2.0%	1.6%
	マレーシア	1,588	1,498	6.0%	1.3%	2.3%	3,911	3,258	20.0%	1.3%	2.1%	1,833	1,657	10.9%	1.2%	2.0%
	シンガポール	3,191	2,911	9.6%	2.7%	4.4%	8,523	7,660	11.3%	2.8%	4.8%	4,240	3,885	9.4%	2.8%	4.7%
	インド	386	715	-46.0%	0.3%	1.1%	1,161	454	155.7%	0.4%	0.3%	619	515	20.5%	0.4%	0.6%
	その他	440	444	-0.9%	0.4%	0.7%	1,567	1,347	16.3%	0.5%	0.9%	783	664	18.2%	0.5%	0.8%
東南アジア小計	12,312	9,896	24.4%	10.3%	15.0%	29,692	19,865	49.5%	9.8%	12.6%	14,531	10,617	37.2%	9.7%	12.9%	
中東	イスラエル	104	108	-3.7%	0.1%	0.2%	249	221	12.7%	0.1%	0.1%	146	132	10.8%	0.1%	0.2%
	カタール	17	33	-48.5%	0.0%	0.1%	32	81	-60.5%	0.0%	0.1%	13	32	-59.3%	0.0%	0.0%
	UAE	164	98	67.3%	0.1%	0.1%	338	236	43.2%	0.1%	0.1%	165	119	39.0%	0.1%	0.1%
	サウジアラビア	65	108	-39.8%	0.1%	0.2%	147	223	-34.1%	0.0%	0.1%	83	127	-34.5%	0.1%	0.2%
	トルコ	79	59	33.9%	0.1%	0.1%	174	138	26.1%	0.1%	0.1%	73	70	4.5%	0.0%	0.1%
	その他	222	174	27.6%	0.2%	0.3%	672	510	31.8%	0.2%	0.3%	379	292	30.1%	0.3%	0.4%
	中東小計	651	580	12.2%	0.5%	0.9%	1,612	1,409	14.4%	0.5%	0.9%	859	772	11.5%	0.6%	0.9%
オセアニア	オーストラリア	10,523	4,392	139.6%	8.8%	6.7%	31,149	11,486	171.2%	10.3%	7.3%	14,155	5,570	154.7%	9.5%	6.8%
	ニュージーランド	936	295	217.3%	0.8%	0.4%	2,883	881	227.2%	1.0%	0.6%	1,219	413	195.8%	0.8%	0.5%
	その他	12	16	-25.0%	0.0%	0.0%	539	22	2350.0%	0.2%	0.0%	282	11	2469.3%	0.2%	0.0%
	オセアニア小計	11,471	4,703	143.9%	9.6%	7.1%	34,571	12,389	179.0%	11.4%	7.8%	15,656	5,994	161.8%	10.5%	7.3%
アフリカ	99	37	167.6%	0.1%	0.1%	221	109	102.8%	0.1%	0.1%	117	43	172.7%	0.1%	0.1%	
海外その他	3,055	1,375	122.2%	2.6%	2.1%	11,383	2,462	362.3%	3.8%	1.6%	3,288	1,743	89.1%	2.2%	2.1%	
外国人合計	119,048	65,859	80.8%			302,717	158,186	91.4%			149,095	82,234	81.7%			
日本人合計	197,715	223,185	-11.4%			319,087	374,239	-14.7%			202,005	239,985	-15.6%			
合計	316,763	289,044	9.6%			621,804	532,425	16.8%			351,100	322,219	9.2%			

	2023	2022	伸率・前年同月差
販売可能客室数	582,373室	583,652室	-0.2%
稼働客室数	351,100室	322,219室	9.0%
稼働率	60.3%	55.2%	5.1ポイント増
外国人比率 (延べ人数ベース)	48.7%	29.7%	19.0ポイント増
外国人比率 (延べ部屋数ベース)	42.5%	25.5%	17.0ポイント増

(注)実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。小数点第一位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

(1)調査時期: 2024年1月1日~2024年1月31日

(2)対象施設数: 110ホテル(18,900室)